

大島商船高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	保健体育
科目基礎情報						
科目番号	0168		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	実技		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電子機械工学科		対象学年	5		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	[教科書]なし / 自作プリント					
担当教員	幸田 三広					
到達目標						
(1) 自分の体力レベルを知り、身体や健康に関心を持つことができる。 (2) AEDを使った心肺蘇生法を習得し、人命救助に積極的に関わる意識を養う。 (3) グループごとに運営計画を立て、活動の準備、練習、試合へと発展させる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	体力テストA・B判定		体力テストC・D判定		体力テストE判定	
評価項目2	AEDを使った心肺蘇生法を状況に応じて的確に実践できる		AEDを使った心肺蘇生法を正しく実践できる		AEDを使った心肺蘇生法を正しく実践できない	
評価項目3	グループごとに活動計画を立て、活動の準備、練習、試合運営へと発展させることができる。		グループごとに活動計画を立て、教員の支援を受けながら活動の準備、練習、試合運営へと発展させることができる。		グループごとに活動計画を立て、教員の支援を受けながら活動の準備、練習、試合運営へと発展させることができない。	
学科の到達目標項目との関係						
JABEE J(01) 本校 (1)-c 電子機械 (3)-d						
教育方法等						
概要	体力テストを実施して自らの体力を把握する。 人体モデルとAEDトレーナーを使った心肺蘇生法の手法を実技テストで確認する。 学生が自ら企画する学生発案型の授業で、グループで企画した活動を実践する。評価は、教員と学生による他者評価とし、企画力と運営力を5段階で評価する。					
授業の進め方・方法	体力テストは、10種目を屋外及び屋内で実施する。 心肺蘇生法は、その手法を一連の流れの中で一人ずつ実技テストで確認する。 学生発案型授業は、担当者が授業1週間前までに企画書を提出する。当日は60分間の授業実践を行う。授業実践後に教員と受講学生から評価を受ける。					
注意点	学校指定の体操服・体育館シューズで授業を受けること。見学時も体操服着用のこと。 ドクターストップによる見学は診断書を提出すること。 追認試験は実施しない。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション	授業概要及び評価方法を理解する		
		2週	体力テスト ①屋外種目	50m走・立幅跳・ハンドボール投げ、の測定		
		3週	〃 ②屋内種目	握力・長座体前屈・反復横とび・上体起こし、の測定		
		4週	〃 ③屋内種目	20mシャトルラン・背筋力・立位体前屈、の測定		
		5週	保 健 ①心肺蘇生法の実践	映像を使ってCPR手法と手順を再確認し実施できる		
		6週	〃 ②心肺蘇生法の実践	AEDを使ったCPR手法と手順を再確認し実施できる		
		7週	〃 ③実技テスト	AEDを含むCPRの手法と手順を理解し実践できる		
		8週	学生発案型授業 オリエンテーション&グループワーク	進め方を理解し計画を立てられる		
	2ndQ	9週	〃 ①グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。		
		10週	〃 ②グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。		
		11週	〃 ③グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。		
		12週	〃 ④グループの実践	〃	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。	
		13週	〃 ⑤グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。		
		14週	〃 ⑥グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。		

後期		15週	⑦グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。
		16週		
	3rdQ	1週	学生発案型授業 オリエンテーション&グループワーク	進め方を理解し計画を立てられる
		2週	①グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。
		3週	②グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。
		4週	③グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。
		5週	④グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。
		6週	⑤グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。
		7週	⑥グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。
		8週	⑦グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。
	4thQ	9週	①グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。
		10週	②グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。
		11週	③グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。
		12週	④グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。
		13週	⑤グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。
		14週	⑥グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。
		15週	⑦グループの実践	グループで企画した内容を、準備、練習、試合運営へと発展させることができる。 自分の役割を自覚しメンバーが協力して企画した活動を実践することができる。
		16週		

評価割合				
	実技	出席	態度	合計
総合評価割合	40	40	20	100
基礎的能力	40	40	20	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0